



日本パラ陸上選手権 T34 クラス

三冠達成 (女子 100m、400m、800m)

高等部 小野寺萌恵さん おめでとうございます！

3月20日、21日に東京の駒沢陸上競技場で行われた日本パラ陸上選手権大会にて本校の高等部3年(大会時2年)の小野寺萌恵さんが、脳性まひ T34=車いす使用クラスにおいて三冠を達成しました。第1日(20日)は100mにおいて20秒69、400mは1分18秒03で制しました。第2日(21日)に行われた800mも2分51秒44で制しました。

新型コロナウイルス感染症のため、様々な大会が中止になり、ほとんど大会に出られませんでした。それでも週末には家族の支援を受け、花巻の日居城野陸上競技場に通り、個人練習に励んできました。自宅においても、車椅子をローラー台に固定して、こぐ練習を繰り返していたようです。学校においても、エレベーターを一切使用せず、練習をかねてスロープを使用しています。2階に上がる際の力強さは、目を見張るものがありました。

初めての全国大会で、すべて1位という快挙に岩手日報も1面の記事に続いて13面にて「小野寺 岩手の星」という見出しで紹介してくれました。裏面をご覧ください。春休み中の快挙に職員室に歓声がわき上がりました。

1月に発行した「校報となん」でも紹介しましたが、小野寺さんは3年後のパリで行われるパラリンピックを目標に、練習に励んでいます。そして、総合的な探究の時間発表会でも、パラリンピック出場という自分の夢を叶えたいと発表しています。

みなさん応援よろしくお祈りします。

小野寺萌恵(盛岡と
なん支援学校高等部)



パラ陸上の日本選手権
最終日は21日、東京・駒
沢陸上競技場で行われ、
男子走り幅跳びの義足T
63クラスは東京パラリン
ピック代表に内定してい
る栗沢朋美(日体大)が
追い風参考で4桁52を跳
び制した。
男子走り幅跳びの義足
T63クラスは山本篤(新
日本住設)が5桁88で優
勝し、視覚障害T13クラ
スでは福永凌太(中大大
学)が6桁59の日本新記
録をマーク。同1500
g(車いすT2)は世界
記録保持者の佐藤友祈
(モリサワ)が3分48秒
09で走った。
県勢は女子800g
(脳性まひT34)車いす
使用)の小野寺萌恵(盛
岡となん支援学校高等部
2年)が2分51秒44で優
勝し、前日の100g、
400gと合わせて3種
目で勝った。
東京パラ出場に向けた
記録更新を後押しするた
め、今大会は従来の秋か
ら前倒しして実施。だが
強い風雨に見舞われたこ
ともあり、多くの選手の
記録は伸び悩んだ。

小野寺

(盛岡となん支
援学校高等部)



日本パラ陸上
女子車いす
800g



女子100m (脳性まひT34=車いす使用) で初優勝した小野寺萌恵 (盛岡となん支援学校高等部) =東京・駒沢陸上競技場

小野寺 岩手の星

パラ陸上女子車いす2種目V

日本パラ陸上選手権第 勢は女子(脳性まひT34 校高等部2年)が100 子砲丸投げ(座位F53) 1日は20日、東京・駒沢 車いす使用)の小野寺 萌恵(盛岡となん支援学校高等部2年)が100mと400mの2種目を制覇。目標の2024年パリ・パラリンピックに向けて大きな一歩を踏み出した。

本県パラ陸上の新星が初めて出場した国内最高峰の大会で輝いた。女子(脳性まひT34=車いす使用)の小野寺萌恵(盛岡となん支援学校高等部2年)が100mと400mの2種目を制覇。目標の2024年パリ・パラリンピックに向けて大きな一歩を踏み出した。

重点的に練習を重ねてきた100mは「スタートがいつもよりうまくいった」と好位置につけ、30m付近で首位に浮上した。後続の追い上げを振り切って20秒69でゴールし、「まあまあ」と顔をほころばせた。

4歳の時の病気が原因で車いす生活を送るようになった。12年のロンドン・パラリンピックで疾走する車いすの選手に胸がときめき、家族に「いいな。やりたい」と宣言。同校中学部2年の時に競技を始めた。

初の大舞台で躍進

一昨年の自己ベストは23秒台。飛躍を期した昨年は新型コロナウイルスの影響でほとんど大会に出られなかった。それでも自宅で車いすをローラー台に固定してこく練習を繰り返した。花巻市の日居城野陸上競技場に週1、2回通い、スタートからピッチを上げる練習に励んだ。

(菊池)

デジャネイロ大会銅メダルの辻沙絵(日体大大学院)が59秒62で、ともに東京パラ出場につながる好記録は出せなかった。